

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース

HACE

No.132

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目 3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

第27回北海道臨床工学会 盛会のうちに終了



2016年11月13日(日)、北海道大学学術交流会館にて第27回北海道臨床工学会が開催され、多くの臨床工学技士や関係者の協力のもと、盛会のうちに終了となりました。お手伝いをしていただいた関係者の方々、講演をいただいた先生方、演題発表をいただいた会員の方々、そして参加していただいた方々に厚くお礼を申し上げます。

本工学会は様々な分野からの発表があり、それぞれの発表に対する意見交換や討議をすることで、多くの知識や情報を得ることが出来る絶好の機会となりました。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.132

第27回北海道臨床工学会盛会にて終了	1
第27回北海道臨床工学会報告	2
重要! 演者の皆様へ投稿原稿提出についてのお願い	2
第10回教育セミナー終了	3
北海道心カテセミナー終了	3
第3回北海道・東北臨床工学会 参加報告	4
北海道・東北臨床工学会 番外編	5
RM ニュース	5
1月からの予定表	7
重要!! 財務委員会からのお知らせ	7
頑張れ! フレッシュヤーズ	8
医療事故情報収集等事業医療安全情報	9
お詫びと訂正	9

北海道臨床工学会報告

北海道大学学術交流会館において、第27回北海道臨床工学会が開催され、会員や学生を含め総勢455名が参加され盛大な会となりました。

特別講演では JCHO 札幌北辰病院 腎臓内科部長 山田幹二先生に「CKD 保存期も含めて」と題してご講演して頂き、教育講演では、社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 不整脈治療部門部長 四倉明彦先生に「ICD リードマネジメント」と題してご講演して頂きました。現職の技士のみならず学生が多数参加されていることもあり、内容をわかり易く、丁寧にご説明して頂き有意義な内容となっていました。

ランチョンセミナーではより様々な分野での実践的なテーマについてご講演頂き、なかには座席が足りなくなるほど盛況な会場も見受けられました。ご多忙の中、ご講演して頂きました小川先生、巽先生、五十嵐先生に御礼申し上げます。

会場中央に位置する展示会場はレイアウトを変えて実施されており、各企業展示も一日を通じて賑わいを見せていました。

その他にも、日本生体医工学会(旧日本エム・イー学会)北海道支部第50回生体医工学研究会との共催企画として「これからの医工連携を考える—生体医工学と臨床工学—」と題され、北海道科学大学 保健医療学部 木村主幸先生が教員側の視点から大学院とはどのような環境で研究を行うか、具体的な研究の進め方、仕事をしながら大学院に通う方法などについてご講演して頂きました。後半は、学生側の視点から自身の経験を踏まえた上での大学院での研究について工藤先生と小幡先生よりご講演頂き、これから大学院入学を考える上でとても参考になり、これからの医工連携を担う臨床工学分野の研究者の重要性を再認識することが出来た内容となりました。

(広報 東)



重要！演者の皆様へ 投稿原稿提出についてのお願い

今回、会誌に論文掲載を希望される方で、学会当日に投稿原稿を提出されていない方は、「投稿・執筆規程」に従い、下記の期日までに必ず投稿原稿を提出してください。提出は郵送でもメールでも受け付けています。

編集用に用意しているパソコン(Windows)は、MicrosoftのWord2010とPowerPoint2010に対応できるようにしています。原稿はWord、図表にはPowerPointを用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送り下さい。また、図表は白黒に修正してからお送り下さい。

なお、公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在 ISSN 登録となっています。今回発表される内容を他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿とみなされますので、注意をお願いいたします。

記

締め切り期日：2017年1月13日（金）必着
原稿送付先：〒070-8610

北海道旭川市金星町1丁目1-65

市立旭川病院 臨床工学室

澤崎 史明 <Sawasaki Fumiaki>

Phone：0166-24-3181(内線3905)

FAX：0166-24-1125

Mail：f_sawasaki@city.asahikawa.hokkaido.jp

第10回教育セミナー終了



松本先生による講義風景

去る2016年10月16日(日)吉田学園医療歯科専門学校6Fパソコン室にて、第10回教育セミナーが開催されました。今回は「Pharmaco統計ソフトによる臨床工学技士のためのデータ解析」ということで、名古屋市立大学大学院医学研究科 非常勤講師の松本一彦先生による、実際の統計ソフトを使用しながらのセミナーが行われました。当日は20名ほどの参加者でしたが、受講者一人一人がPCと準備された統計ソフトを使用しながらデータ解析の手法についてレクチャーを受け、各自理解を深めておられました。

統計学は論文を作成するうえで非常に重要なものであり、実験で得られる様々なデータをどう扱うか、またどのような検定方法で解析するか、これを誤ると得られるはずの有意差も得られなくなるため適切な統計手法が必要になるということはとても勉強になりました。

松本先生によると、現在臨床工学技士向けの統計ソフトも開発中とのことであり、今後我々臨床工学技士のデータ解析の一助になってくれるものと考えます。

休日にもかかわらず講義していただいた松本先生、また本セミナーを企画された教育委員会の皆様お疲れさまでした。

(広報 奥山)

北海道心カテセミナー終了

2016年11月19日(土)TKP札幌駅カンファレンスセンターにて、北海道心カテセミナー2016Vol.1～カテ室業務に役立つ生理検査の見方～が開催され、各施設の臨床工学技士総勢75名が参加する盛大なセミナーとなりました。

セミナーでは、三施設の臨床工学技士が演者として、「自施設における心カテ業務」という演題でご発表頂きました。普段はなかなか知ることの出来ない他施設の業務内容について、心カテ業務のみならず様々な業務について写真や動画を使用し紹介して頂き、各施設三者三様の特色が有り、そのなかでも業務に使用する物品を自作し活用しているという発表が印象的でした。

また、特別講演として倉敷中央病院の清水速人先生から「目からウロコ!カテ室業務に役立つ心エコーと心電図」と題してご講演頂きました。心エコーから得られる情報や最低限知っておくべき心エコー所見など、臨床検査技師ならではの視点から症例を交えながら様々な内容をご紹介して頂きました。

講演後半では、実際のエコー動画を観察しどの部位に異常があるかを考える内容となっており、受講者が参加し考えながら進行していたので、楽しみながら学びかつ実践的な知識を習得することが出来たセミナーとなりました。

(広報 東)



特別講演の清水先生

第3回 北海道・東北臨床工学会 参加報告



公益社団法人 北海道臨床工学技士会
常務理事（渉外担当） 木村 吉治

去る2016年10月15日（土）～16日（日）、いわて情報交流センター（アイーナ）にて第3回 北海道・東北臨床工学会・第22回北海道・東北連絡協議会が行われました。

北海道臨床工学技士会からは大宮会長、池田事務局長と私が技士会運営に対する情報交換、工学会運営の視察、演題発表協力、東北6県の臨床工学技士会との親睦を目的に参加してきました。

3回目を迎えた北海道・東北臨床工学会は菊地雄一大会長（岩手臨床工学技士会）のあいさつで幕を開け、「地域の連携と歩む臨床工学技士～北の国からのイノベーション」をテーマに開催され、医工連携事業の普及についても考える会となりました。

特に経済産業局と共同開催したパネルディスカッションでは臨床工学技士が医療現場の現状や製品への意見を積極的に提示することで質の高い医療機器が生まれ、結果的により良い医療を提供できることや実際の取り組みについて説明されると臨床工学技士の新しい可能性を感じる事が出来ました。

また、若い技士をパネリストに迎えて行われたYボード共同パネルディスカッションでは帯広厚生病院の山本将平さんが「地域連携における医療機器安全管理の現状と課題」をテーマに口演を行い、時に若手には難しいと思われるような質問にも、若者とは思えないほど堂々とした応答を見せていたのが印象的でした。北海道の若者を代表して口演してくれた山本さんに改めて感謝いたします。

最後になりましたが、北海道・東北臨床工学会は全ての登録会員数を合わせると二千五百人を超える大きな会となりました。このような規模の会を、外注の企画運営会社に頼らず全て自前で行ったそうで、岩手県臨床工学会の皆様のご苦勞は大変なものだったと思われまゝす。すばらしい学びの機会を与えてくれた岩手県臨床工学技士会の皆様に心から感謝いたします。

北海道からの参加者

一般演題発表者 8名・座長 3名・
シンポジウム演者 2名・教育講演 1名・
一般参加者 多数



Yボード共同パネルディスカッションの山本先生

北海道・東北臨床工学会

番外編

北海道・東北臨床工学会が行われた、いわて情報交流センター（アイーナ）の別フロアにある多目的スペースで、臨床工学技士のお仕事体験ブースが設置されていました。

大きな看板を掲げることなく、一見すると何のイベントかわからないような設置スペースにも関わらず、ICU や手術室の一室がリアルに再現されたブースは、通行人の興味を引き賑わっていました。

いわて情報交流センターは、県立図書館や運転免許センター、県立大学キャンパスなどが入る複合施設であったせいか、子供から高齢者まで幅広い層の集客に成功していました。

当会で同様のイベントを開催する際は、会場の選択やブースの設置方法など大いに参考にしたいと思います。



◆RM ニュース◆

<手術中に機器操作ミス>

千葉県内の病院で 21 日、食道がん患者の手術中に止血用の機器の操作に誤りがあったと発表した。

看護師の不慣れが原因で、機器による止血がうまくいかず、医師が別の手法で止血して手術は成功した。同病院は将来的に重大な事故につながる可能性があるとして、県に医療事故として報告した。

発表によると、同病院は昨年 12 月中旬、県内の 60 歳代男性の食道を摘出した。手術中、脾臓から出血があり、電気メスを使って止血

することにした。しかし、看護師が電気メスを機器に接続した際、誤って別の差し込み口に接続した。この結果、医師が止血を数回試みたが、思うような効果が出ず、結局、圧迫などで止血した。機器の使用開始から約 2 時間後、差し込み口が誤っていたことに病院スタッフが気づき、この間、約 2 リットルの出血があった。ただ、同センターは「機器は複数の止血手段の一つで、患者の経過に影響はなかった」としている。

男性は今年 1 月中旬に退院し、経過は順調だという。同病院は看護師らの研修を実施し、再発防止に取り組んでいる。

<在宅酸素療法 火災が5年で 24件・・・22人死亡>

肺の病気のため酸素吸入をする在宅酸素療法が原因とみられる火災が、この5年間で計24件あり、患者22人が死亡したことが、一般社団法人「日本産業・医療ガス協会」のまとめでわかった。

吸入中の喫煙が原因となるケースも多く、同協会や厚生労働省は近くで火を使わないように呼びかけている。

在宅酸素療法では主に、酸素濃縮装置から鼻につないだチューブを通し酸素を吸入する。長年の喫煙が原因で肺が酸素を取り込みにくくなる慢性閉塞性肺疾患（COPD）や、肺結核の後遺症の患者ら約16万人が受けている。

同協会のまとめによると、2012～16年6月に患者宅で起きた火災は、14年の7件を最多に計24件あった。

2016年7月23日（土）配信読売新聞

<老人ホームを家宅捜索 呼吸停止で女性死亡>

大阪府警捜査1課は23日、人工呼吸器の停止で入所者の女性（68）が死亡した大阪府内の介護付き有料老人ホームを家宅捜索した。

捜査関係者などによると、女性の死亡が確認されたのは20日午後9時5分すぎで、人工呼吸器はコンセントにつながれた状態で電源のスイッチが切られていた。しかし、その後にスイッチを入れると呼吸器は正常に作動した。

女性は筋肉が萎縮する病気で呼吸機能が低下し、自らスイッチを操作することもできなかったとみられる。普段の介護では、呼吸器に付属した加湿器の水を入れ替える際などに、スイッチを切ることがあるという。

捜査1課は家宅捜索するとともに現場検証を実施。業務上過失致死などの疑いもあり、呼吸器を押収した上で職員らに当時の状況を聴き、スイッチの入れ忘れや操作ミスがなかったかどうかなど詳しい経緯を調べる。

女性は2014年2月から入所しており、20日午後8時20分ごろ、巡回中の看護師が呼吸器のモニターが消えているのに気付いた。司法解剖の結果、死因は窒息死だった。

2016年8月23日（火）配信共同通信社

<内視鏡検査でホルマリン液を誤注 入患者は重症 兵庫>

兵庫県内の病院の医師が昨年7月、内視鏡検査を受けた同市の70代の男性患者の十二指腸に、誤って劇物のホルムアルデヒドを含むホルマリン液を注入していたことがわかった。男性は13日、十二指腸の粘膜がただれたり、はれたりして重傷を負ったなどとして、当時の内科部長について業務上過失致傷の疑いで告訴状を県警に提出した。

告訴状によると、男性は昨年7月22日に内視鏡検査を受けた際、10%濃度のホルマリン液120ミリリットルを十二指腸に注入されたという。男性は内科部長らが使用液の確認を怠ったと主張。神経痛などの後遺症が出たとしている。

病院によると、ホルマリン液は病理検査のために使うもので、精製水の容器に高濃度のホルマリンを混ぜて作っている。超音波を使った内視鏡検査で、本来は精製水を十二指腸に注入するが、今回は誤ってホルマリン液を使ったという。

男性のほか、このホルマリン液でレンズを洗浄した内視鏡が使われた患者が55人いるとみられるが、健康被害は確認されていないという。病院は医療事故として市保健所に届けたが、公

表していなかった。告訴状について「内容を確認次第、対応したい」とコメントしている。

13日に会見した男性の息子は「病院側の対応に不信感がある。個人の責任を問わないあいまいな姿勢に強い憤りを持つ」と訴えた。

2016年10月14日(金)配信 朝日新聞

1月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

2017年2月4日(土)、5日(日)

「第28回人工呼吸器セミナー」

会場 札幌医科大学臨床研究棟1階講堂

<http://www.kokyu-kanri.com/>

2017年3月9日(木)～3月11日(土)

「第44回日本集中治療医学会学術集会」

会場 ロイトン札幌

さっぽろ芸文館

札幌市教育文化会館

<http://44jsicm.gakkai.me/>

2017年5月20日(土)～5月21日(日)

「第27回日本臨床工学会」

会場 リンクステーションホール青森

ホテル青森

<http://convention.jtbcom.co.jp/jace27/>

重要！！財務委員会からのお知らせ

平成29年度年会費の 自動口座振替日の連絡とお願い

正会員の年会費納入方法につきましては、2016年度より自動振替化に完全移行いたしました(ただし、賛助会員と振込用紙による年会費

の支払いを希望した会員は除きます)。継続正会員に対する2017年度の年会費の自動口座振替日は**2017年2月27日(月)**におこないます。会員の皆様におかれましては、登録口座の内容に変更がないか、また残高が十分かなどを事前にご確認頂くようお願いいたします。なお、登録の自動振替口座の変更がある場合や諸事情により当会を退会する予定の会員は至急事務局にご連絡ください。

正会員年会費領収書発行 原則中止について

今年度より正会員年会費の自動振替化に完全移行いたしました。それにともない、**2017年度より普通会員年会費領収書の発行を原則中止いたします。**

今後は、銀行口座の通帳より、年会費のお支払状況をご確認いただくようお願い申し上げます。なお様々な事情により**領収書の発行を希望される方は、ホームページよりお問い合わせください。**

年会費を施設で支払う場合や、事情により技士会の承認を得て事前に振込用紙による支払いを希望している正会員、賛助・団体会員につきましては、今までどおり領収書を発行いたします。

正会員数が1100名以上と増加するにともない、領収書発行業務にかかる時間が大幅に増えて大きな負担となっております。会の健全な運営のためにも、正会員年会費領収書発行原則中止へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

お問い合わせは、**技士会ホームページ「お問い合わせ」→「技士会事務局へのお問い合わせ」**よりご連絡ください。

頑張れ！フレッシュヤーズ

このコーナーは、平成27年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、平成28年3月に北海道ハイテクノロジー専門学校を卒業し、現在日鋼記念病院にて勤務中の庄司笑香さんです。



日鋼記念病院 庄司笑香さん

今年の3月に北海道ハイテクノロジー専門学校を卒業し、日鋼記念病院に就職して8ヶ月が過ぎました。まだまだ緊張の毎日ですが、建物に入るだけでビクビクしていた4月と比べると随分慣れたものだと感じます。

当院の臨床工学技士は血液浄化、カテーテル、手術室、内視鏡等の分野で業務を行っています。現在私は血液浄化業務を中心に人工透析、急性血液浄化、高気圧酸素治療に携わっています。1人で任される仕事も多くなって責任の重さを感じ、誰かに見守られることのありがたさと、それに頼ってきた自分の甘えを痛感しています。

当院は臨床工学技士の当直を行っておらず、待機者がコールがあれば対応します。私は9月から待機に入り始めました。それまでは1人で任されるとは言えアドバイスを求められる存在が近くにいる状態でしたが、いよいよ本当に1人きりでの業務です。先輩は「困ったら電話して良いよ」と言ってくれますが、もしかしたら真夜中に、眠っている先輩を電話でたたき起こすのは怖いし、でも1人も怖いし…どっちの勇気を出すべきか、も

ちろん私では対応できないことが起きれば先輩に頼るしかないのですが、とにかくドキドキし通しです。週に1度は落ち着かない夜を過ごしていましたが、奇跡的にはじめの2ヶ月間は一度も呼び出されることなく迎えた11月頭、初めての呼び出しがありました。時刻は朝6時前、起床直後の電話に大急ぎで病院に駆けつけその場は何とかしのぎましたが、後から考えると慌てるあまり酷く効率の悪い動きをしていたと反省しました。

待機に限らず日常の業務でも反省点は尽きません。失敗や反省を積み上げていく日々ですが、その中で得ているものは達成感ややりがいです。技士としての業務に加え臨床にも深く関わり、さらに学会発表にも多く取り組まれている先輩方の元、自分もそうなりたいと強く感じています。今はまだ技士として半人前とも言えないくらいかもしれませんが、1歩ずつでも着実に成長し、「私は臨床工学技士です」と胸を張って言えるようになるよう、努力を惜しまず邁進していきます。



医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.119 2016年10月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報

シリンジポンプの薬剤量や溶液量の設定間違い

No.119 2016年10月

薬剤量や溶液量などを入力すると流量が自動で換算されるシリンジポンプの設定を間違えたため、誤った流量で薬剤を投与した事例が3件報告されています。(集計期間: 2013年1月1日~2016年8月31日)。この情報は、第12回報告書「個別のテーマの検討状況」で取り上げた内容を基に作成しました。

シリンジポンプの薬剤量や溶液量の入力を間違えたため、設定上誤った濃度となり、意図しない流量で薬剤を投与した事例が報告されています。

シリンジポンプのイメージ

薬剤名	設定内容				設定上の濃度 間違い	流量 間違い
	体重 (kg)	薬剤量 (mg)	溶液量 (mL)	投与量 [※] ($\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$)		
プロポフォール	予定 未記載	10	1	未記載	$1/10$	10倍
アルチバ	予定 60	0.1	1	5	$1/5$	5倍
ボスミン	予定 10	0.3	10	0.05	10倍	$1/10$

※機種により、投与量の単位は $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ の他に $\text{mg}/\text{kg}/\text{h}$ などを設定することができます。

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.119 2016年10月

シリンジポンプの薬剤量や溶液量の設定間違い

事例 1

シリンジポンプでプロポフォールを投与する際、薬剤量「10mg」、溶液量「1mL」と設定しようとしたところ、薬剤量を「1mg」と誤って入力した。そのため、実際の10分の1の濃度に設定され、投与予定の10倍に換算された流量で開始した。投与開始3分後、シリンジポンプの設定の誤りに気づき投与を中止した。

事例 2

医師は、アルチバを溶解しシリンジポンプにセット後、体重「60kg」、薬剤量「0.1mg」、溶液量「1mL」、投与量「0.5 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ 」と設定したつもりであった。投与開始直後に血圧低下を認めため確認すると、溶液量を「5mL」と誤って入力していた。そのため、実際の5分の1の濃度に設定され、投与予定の5倍に換算された流量で投与していた。医師は、表示された流量を投与前に確認していなかった。

事例が発生した医療機関の取り組み

- シリンジポンプに設定した薬剤量や溶液量を投与開始直前に確認する。

総合評価部会の意見

- 換算された流量が正しいかどうか確認しましょう。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例を元に、本事業の一環として総合評価部会の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を本来にわたる保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三輪町1-4-17 楽洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.med-safe.jp/

お詫びと訂正

「北海道臨床工学技士会会誌」第26号(2016年9月30日発行)の掲載論文の筆者施設名に誤りがありましたので、以下の通り訂正いたします。

目次 21. 論文

(誤) JA 国立病院機構 → (正) 国立病院機構

57項

(誤) JA 国立病院機構 → (正) 国立病院機構

会員の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111



高リン血症治療剤

処方箋医薬品[※] 注)注意—医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



ピートル[®] チュアブル錠 250mg
500mg



P-TOL[®] Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferriic oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  **キッセイ薬品工業株式会社**

松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
<資料請求先> くすり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3011JD
2016年1月作成

経験と実績から生まれたME 機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

最新・最先端の医療機器の情報を提供します。

 SHIP HEALTHCARE GROUP



SMC 株式会社 札幌メディカルコーポレーション

本社 札幌市白石区本通3丁目北6番18号 ☎ 011-862-4061
 函館営業所 ☎ 0138-83-2252 室蘭営業所 ☎ 0143-83-7720
 旭川営業所 ☎ 0166-76-1065 北見営業所 ☎ 0157-57-1672

【業務内容】 1. 医療機器販売(循環器、不整脈、心臓外科、ニューロ、体外循環など)
 2. 医療業務サポート(中材、SPD、医院開業) 3. その他
 ※詳細は、当社ホームページをご覧ください。⇒ <http://www.ksmc.jp>

針刺し防止機構付き透析用留置針
Happycath NEO

- フルカバータイプのセーフティ機能
- カテーテル表面の潤滑性向上



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL: 03-3839-0201
 製造販売元: 東亜メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知原字亀川 17148-6 TEL: 0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

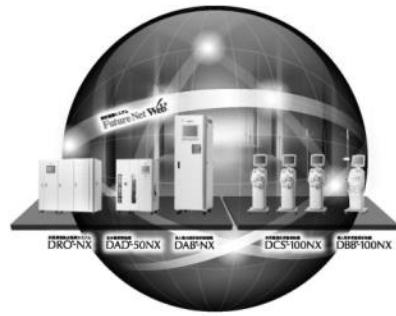
医療機器認証番号: 212008ZZ00547000
販売名: ハッピーキャス クランプキャスP





NIKKISO Total System NX

安定した治療と、業務の最適化をサポートします。



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965



Innovation by Chemistry



販売名:トレスルホンNV
一般的名称:血液透析濾過器
医療機器承認番号:22700BZX00322000
医療機器区分:高度管理医療機器

東レ独自の膜表面改質技術を採用し、
多様なHDF療法に応えるヘモダイアフィルター



販売業者 東レ・メディカル株式会社 <http://www.toray-medical.com/>
製造販売業者 東レ株式会社

CARDIOSAVE & TRANS-RAY 7 Fr. IABP 患者にとって最適な治療

GETINGE GROUP

Fiber Optic Sensor IAB Catheter TRANS-RAY 7Fr.

細径化、高速化・・・患者と医療従事者のために

販売名:IAB カテーテル TRANS-RAY
医療機器承認番号:22400BZX00035000

MORE THAN A PUMP. A REVOLUTION CARDIOSAVE

血行動態サポートの新しいスタンダード

販売名:大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE
医療機器承認番号:22500BZX00029000



製造販売元
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲23F
連絡先:アキュートケア・セラピー事業部
TEL:03-5463-8315 FAX:03-5463-6856
www.maquet.com/jp

AsahiKASEI

ポリスルホン
ヘモダイアフィルタ

ABH Series

実績のあるポリスルホン膜を採用
幅広い4種類の膜面積を揃えました

血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器

ABH-P

中空糸内径と細孔径を最適化

高度管理医療機器
承認番号:22200BZX00577000

ABH-F

中空糸内径の拡大により血液側圧力損失を低減

高度管理医療機器
承認番号:22000BZX00696000



旭化成メディカル株式会社

<http://www.asahikasei-medical.co.jp>

No.2012.5-7470

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されています。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討中の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



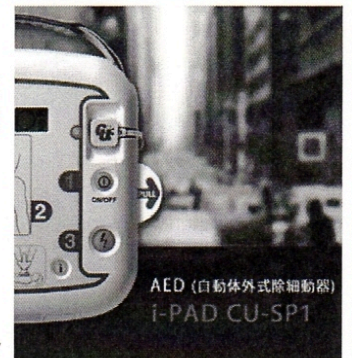
最新医療機器と最新知識の提供を目指す

株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階

TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>



AED (自動体外式除細動器)
i-PAD CU-SP1

Medical Support Service Provider

株式会社 ぼくやく・竹山ホールディングス
HOKUFANG TAKEYAMA HOLDINGS

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

血液浄化 低侵襲機器 内視鏡
整形外科 「専門領域に特化した支援・サポート」ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。 眼科
循環器 画像診断機器 テクニカルサポート

株式会社 竹山
代表取締役 茂野 護
本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌圏	中央支店 ☎011-205-8061	北支店 ☎011-205-8065	新札幌支店 ☎011-861-2223
	大宮支店 ☎011-711-0123	旭支店 ☎011-711-0124	市内支店 ☎011-205-8062
	札幌センター ☎011-205-8063	旭センター ☎011-826-5161	
道央・道南圏	新青森支店 ☎0143-451221	苫小牧支店 ☎0144-53-2101	小樽支店 ☎0134-29-4524
	青森支店 ☎0126-25-6992	函館支店 ☎0138-83-5000	
道東・道北圏	網走支店 ☎0154-25-2241	北見支店 ☎0157-31-3224	帯広支店 ☎0155-35-5800
	旭川支店 ☎0166-73-3011	空知支店 ☎0125-54-3465	道北支店 ☎01654-3-9955
首都圏	東京支店 ☎03-3814-0103	横浜営業所 ☎045-232-3310	

在宅医療の未来へ

呼吸不全に対して多角的なアプローチをご提供し、在宅を中心に呼吸療法をきめ細かくサポートいたします。



先進の医療機器で健やかな呼吸をサポート

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 TEL. (03)3813-7200(代)
札幌 VC 〒001-0020 北海道札幌市北区北20条西3丁目 江洋ビル TEL. (011)756-8585



VIVO 50



血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)

ヘパフィールド®

透析用250単位/mLシリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること



販売元
株式会社 ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号



製造販売元
株式会社 大塚製薬工場
徳島県徳島市徳島町立岩字芥原115

日本標準商品分類番号 87 3334
薬備基準収載

- 清潔操作を実現
- 調製作業を簡略化
- 薬剤汚染を防止
- 充てん操作が不要
- 誤投薬を防止
- 作業速度が向上

数字と目盛りが見やすい!
内容量が確認しやすい!
より使いやすくなりました。
※製品色は赤紫色から青色に変わりました。

文献請求先
株式会社ジェイ・エム・エス血液浄化営業部
〒140-0013
東京都品川区南大井1丁目13番5号
新南大井ビル
TEL : 03-6404-0602



SERVO-U™は、保護換気の効果的な選択肢を幅広く用意しています。いずれも便利で、分かりやすく、そして使いやすく簡単です。つまり、強制換気、サポート換気、非侵襲的換気、自発呼吸トライアル(SBT)中などのあらゆる段階にある、多くの患者が高度な肺保護戦略の恩恵を受けることができます。パワフルな新モデルをぜひお試しください。

NEW 新生児・小児・成人用人工呼吸器 SERVO-U

製造販売承認番号:22600BZX00361000

※新生児はオプション



本社 / 〒060-0013 北海道札幌市中央区北13条西17丁目1番35号 TEL(011)737-3171(代)
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間:月~金曜日(祝祭日,休日を除く) 9:00~18:00
<http://www.fukuda.co.jp/>

●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光五条3-1-1 TEL(0166)32-6970(代)
●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 TEL(0154)39-1088(代)
●帯広出張所 〒080-0026 北海道帯広市西16条南1-18-5 TEL(0155)58-1810(代)

●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-12 TEL(0138)55-6097(代)
●北見出張所 〒090-0048 北海道北見市北8条西1-15 TEL(0157)22-6620(代)

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	北農会 恵み野病院	臨床工学科	日沖一木
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川医療センター	診療統括部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>